

校区住民投票条例の臨時議会

4月27日(水)午後1時に意見陳述

先週号につき、『四條畷市小中学校の廃止の是非に係る校区住民投票条例』を審議するための臨時議会についての続報をお伝えします。

集まった署名は火災数の4・5倍！

この条例を求める直接請求は地方自治法第74条に定められており、『有権者の50分の1の有効署名を添えて、市に条例の制定を請求すれば、市長は議会を招集し、議会を開かなければならない』となっております。直近(3月2日現在)の四條畷市の有権者数は44,780人で、896人の有効署名

名があれば条例請求をすることができま

す。今回、この条例請求を

求める有効署名は406

7人分で、必要数の約

4・5倍でしたので、「無

駄使いをやめ、地域を大

切にする条例制定運動」

は8日、市に請求書を提

出。11日の議会運営委員

会で臨時議会の日程が決

定されました。

市会議員

岸田あつこ



ます。

「地域のことは地域住民が決める！」という民主主義を求めた市民の運動が、議会でどう判断されるか。ぜひ多くのみなさんが傍聴に来ていただきますようお願い致します。

一般会計予算審議報告③

粗大ごみ有料化 納得できる根拠なし

先週号につき、一般会計予算に対する岸田あつこ議員の質問をお伝えします。

一般会計予算の中に、粗大ごみ有料化を前提とした費用が計上されています。

粗大ごみ有料化については、環境審議会の答申で、『市民に十分に説明し、意見を聞き、尊重すること』を求めています。それをまだ実施していません。「この段階で有料化前提の費用を計上するのは時期尚早という判断はなかったのか」と部長に問うと、部長は「有料化に舵を切った。想定できるものは当然計上する」と

開き直りのような答弁を

しました。

岸田議員がさらに「ご

みの現状を科学的なデー

タで示し、その上で市民

に意見を聞き、意見の半

数以上が反対であれば、

有料化は見直すべき」と

市長にも答弁を求める

と、市長は「環境審議会

で賛成多数になった。何

らかの受益者負担は求め

ないといけない。パブ

リックコメントで意見を

聞いていきたい」旨の答

弁をしました。

意見陳述は 代表者3名

まず、18日(月)午前10時に議会が招集され、『四條畷市小中学校の廃止の是非に係る校区住民投票条例』に対する市長の意見が述べられます。その後、議会は一旦休会となり、27日(水)午後1時に再開されます。代表者3名による意見陳述が1人10分以内で述べられた後、議員による質疑が行われます。その後、議員間の自由討議、討論が行われ、採決が取られ

今後行われるパブリックコメントについては、わかり次第お知らせします。

粗大ごみ有料化の減量効果は？ 「推測困難」というデータラメぶり

四條畷市と交野市の焼却灰は、大阪湾の埋立処分場に運んでいます。『ごみの減量化が必要』とする理由の1つに、埋立処分場の耐用年数が迫っていることを持ち出すのですが、岸田議員の質問で、粗大ごみ有料化してどれだけ減量できるかの試算はしていない、というデータラメぶりが明らかになりました。



委員会

で岸

田議員が「環

境審議会では

5袋無料は続

けたい。大き

なごみだけ有

料と説明があ

った。そして

、現在の粗

大・不燃ごみ

のほとんどが

(裏面へつづく)

議会報告

No.75 2016年4月15日号
発行：日本共産党四條畷市議員団
四條畷市中野本町1-1 四條畷市役所内
Tel: 072-877-2121

(表面からのごみ)

袋のものだという答弁もあった。そのような状況で、粗大ごみを有料化して、減量化につながるのか。埋立処分場への搬入量の削減効果はどの程度

と見込んでいるのか」と問うても、部長は「減量化の意識付けはできるが、減量の推測は困難」と答弁。これでは、「粗大ごみの有料化が必要」と言われても、到底納得できません。

の創設、防災対策、学校統廃合問題、市税・国保の差押えの問題等々を取り上げ、市民の要求を訴えました。

目標値の72%も減量すすむ

四條畷市のごみの減量化はすすんでいます。2014年度のデータで、家庭系可燃ごみも、粗大・不燃ごみも、下表のように目標値を下回り、特に粗大・不燃ごみは目標値の72%ほどに減っています。

こんな状況の中で、なぜ粗大ごみの有料化が必要なのか、何1つ納得のいく説明がないまま、市は粗大ごみの有料化をしようとしています。こんなことを認めていいのでしょうか？

岸田議員は他にも、子どもの貧困対策、がん検診の充実、生活者自立支援の充実、住宅用太陽光補助制度、住宅リフォーム・店舗リフォーム制度

討論で岸田議員は、①粗大ごみ有料化を前提とした費用の計上、②住民合意のない学校統廃合の強行、③忍ヶ丘駅西ロータリーのムダな改修費用の問題などを述べ、採決では、岸田議員と森本議員が反対しましたが、それ以外の議員の賛成で一般会計予算は可決しました。

市民の願い実現！

鳥ヶ池横の歩道設置と道路拡幅、清滝の歩道改修

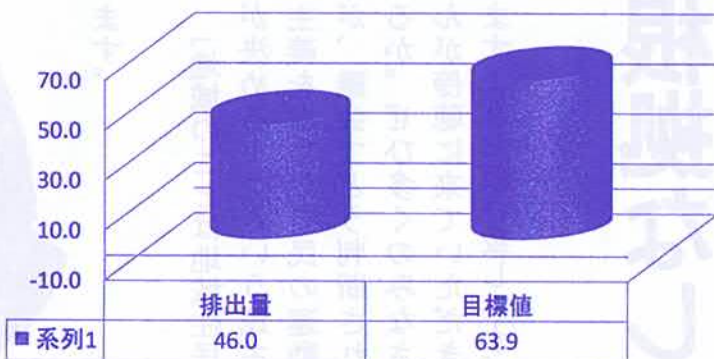
市民の長年の要望であった忍ヶ丘小学校の北側にある鳥ヶ池(岡山東5丁目)の歩道設置と道路拡幅、四條畷中学校からの下り坂(清滝)の歩道の改修がそれぞれ3月に完了しました。鳥ヶ池の歩道設置について、岸田あつこ議員は2002年(平成14年)12月議会の一般質問で取り上げ、清滝の歩道改修は市民の声を担当課に要望していました。



写真上は清滝の歩道改修、下2枚は鳥ヶ池の歩道設置と道路拡幅の様子



2014年度の家系系粗大・不燃ごみの1人1日あたりの排出量と目標値(g)



2014年度の家系系可燃ごみ1人1日あたりの排出量と目標値(g)

